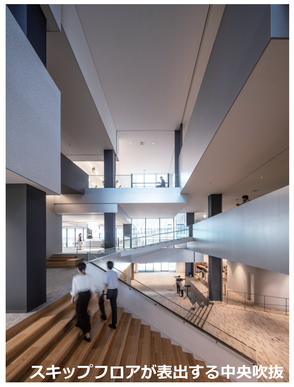
第2回 SDGs建築賞　―大規模建築部門―

主催：一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター

審査委員会奨励賞

エア・ウォーター健都





スキップフロアが表出する中央吹抜



3 階オフィスから見る、積層化された多様なアクティビティ

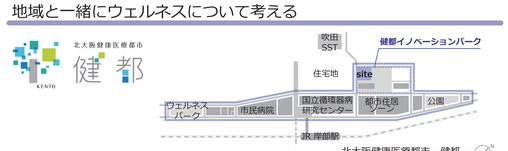


大小の奥行きを持ったソトワークテラス

活き活きとしたくらしを考える、ひとつながりの共創空間

ウェルネス事業を開発するための新拠点である。企業が有するウェルネス技術を活かし、地域とつながる産官学民連携によるオープンイノベーションを推進するため、３層を４分割にした１２層のスキップフロアが吹抜と光庭を巻き込み、ひとつながりとなる空間構成とした。外装へと表出するスキップフロアの構成は、四周に大小の庇空間をつくり、日射遮蔽と自然採光の最適化に寄与するとともに、様々な先進的な技術の融合により、Nearly ZEBを達成した。

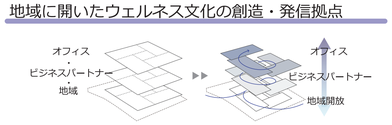
地域と一緒にウェルネスについて考える

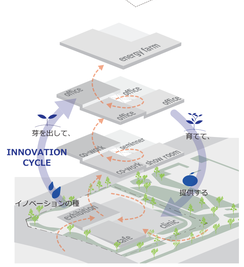




健康・医療に重点をおいたまちづくりが行われる健都イノベーションパークに位置し、裏表のない配置・外構計画が、隣地との一体性と回遊性を持ち合わせた、地域に開き招き入れる計画とした。

地域に開いたウェルネス文化の創造・発信拠点





3F 事業を展開する Creative lab

2F 技術がつなげる Connecting lab

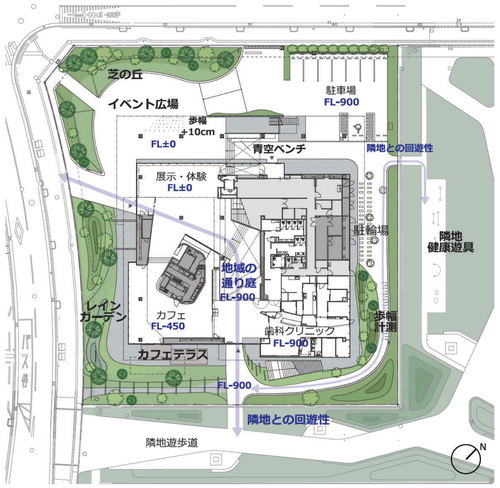
1F 地域に開いた Living lab

ウェルビーイングと脱炭素社会への取り組みを両立する次世代イノベーションオフィス

スキップフロアによる空間の変化は、執務者に自由に快適に感じる場所を選ぶことで満足度を向上させ、ABW を促進する。エリアごとに異なる空調・照明計画を採用することで、温熱・光環境についても執務者に選択制を持たせ、一人一人にとって心地よい環境で執務を行うことが、健康に寄与し、知的生産性も向上させる。

地域に開くことで、防災・健康文化を浸透するきっかけをつくる

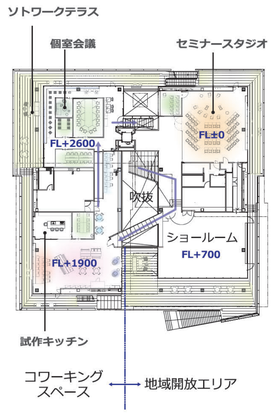
地域開放された1階では、健康食を中心としたカフェやウェルネスに関する展示や体験が日常的に行え、健康文化の醸成を担うイベントが定期的に開催される。



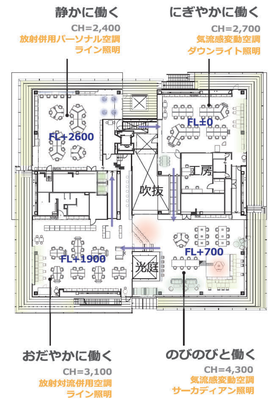
1 F 地域に開いた Living lab

健康と知的生産性向上 ―ワーカーの心と体を整えるウェルビーイングオフィス―

40m角のフロアを4分割して生まれた大小の多様な居場所に加え、多様な家具の配置によりできる気分やワークの性質で選択可能な場の設置によりワーカーが活き活きと働くことができるワークプレイスを計画した。



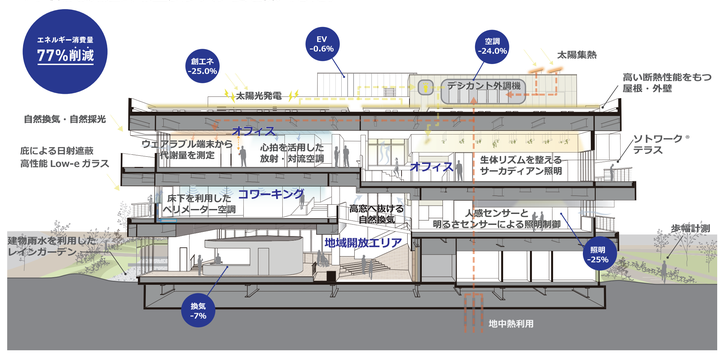
2F 技術がつなげる Connecting lab



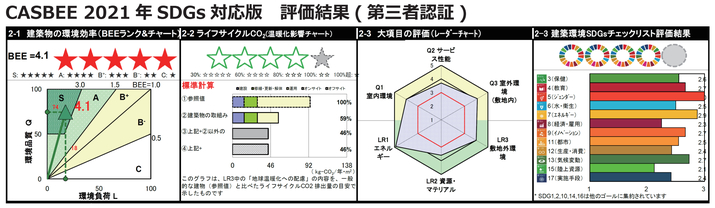
3F 事業を展開する Creative lab

脱炭素を実現する外装デザインと先進的な空調制御

年間熱負荷と自然採光のシミュレーションを行うことでデザインと環境性能を両立した高性能ファサードを構築した。開放性と意匠性を確保するとともに、高い日射遮蔽性能と断熱性能を確保し、地中熱・太陽熱などの自然エネルギーをより効率的に利用するAI制御を導入し年間通して利用可能な先進的な空調システムを採用した。



CASBEE 2021 年 SDGs 対応版　評価結果 (第三者認証)



BELS ZEB

この建物のエネルギー消費量 77%削減
2022年10月7日交付 国土交通省告示に基づく 第三者認証

Nearly ZEB の取得

BEI=0.23
BPI=0.64
BELS ★★★★★
CASBEE S

建築主：エア・ウォーター株式会社
設計者：株式会社竹中工務店
施工者：株式会社竹中工務店
所在地：大阪府摂津市
主要用途：事務所
構造・規模：S造・地上4階
敷地面積：3,663.61㎡
建築面積：1,937.69㎡
延床面積：4,741.23 ㎡
竣工年月：2023年6月